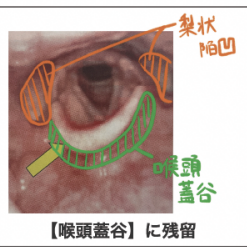


直接訓練

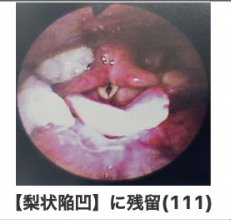
咽頭期障害で【起こること】と【適応になる直接訓練法】

1 喉頭期障害の人→食べ物が



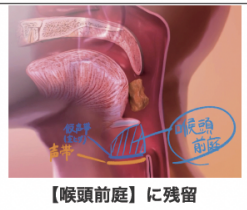
【訓練法】うなずき嚥下

- 1: 頸部を少し後屈させる(残留物を後方へ)
- 2: すぐに頸部を前屈させて空嚥下



【訓練法】頸部回旋(横向き嚥下)

患者さんの頸部を患側へ回旋させて嚥下



【訓練法】咳払い

【訓練法】supraglottic swallow (喉頭超え嚥下・息こらえ嚥下)

スーパーグララティック

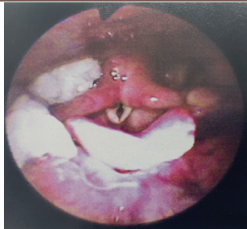
喉頭前庭とは (喉頭口 仮声帯(室ヒダ)) この間のこと

2 喉頭期障害の人→嚥下反射が遅延・消失する

【訓練法】味覚刺激嚥下

3 引用 — 歯学部生のための摂食・嚥下リハビリテーション学(医歯薬出版)

過去問(111)



この状態を改善させるのはどれか?

梨状陥凹に食塊が残留している

頸部回旋

他の選択肢

頸部伸展  
息こらえ嚥下  
嚥下の意識化  
体幹角度調整